

1. 実施機関名

国立大学法人東京大学

2. 企画名

イノベーションを創出するグローバル科学技術人材の育成プログラム

3. 総合評価コメント

特筆すべき取組状況であり、企画の目標を上回る成果が得られたと評価する。

実施体制について、生産技術研究所が主体となり、2年度目より理学系研究科・工学系研究科など9部局による全学的な協力体制が構築できている。また、受講生の募集について、コロナ禍であってもオンラインツール等を活用し、3、4年度目には目標の2倍以上の応募者を集め、全国の高校から多くの受講生が参加していることは評価できる。一次・二次選抜のほか中間選考や補強段階を設けることで丁寧な選抜を実施し、全学体制による豊富な教員群のもと、多くの第二段階生を受け入れることができている。受講生が創出する成果については、目標に達しない項目も一部見られるが、国際学生科学技術フェア（ISEF）での Grand Award 受賞など非常に優れた成果を創出している。受講生の評価について、ルーブリックに加え専用評価システムを開発することで、評価結果の可視化は勿論、受講生と教員とのやり取りを容易化している点も良い。

一方、応募者数については、全国から卓越した才能を持つ人材を集める工夫を引き続き検討していただきたい。また、受講生の研究活動において、優れた成果を創出すると同時に、企業等と連携した共同研究についても積極的に進められることを期待したい。

今後の取組実施において、貴学ならではの優秀な人材を発掘するとともに、素晴らしい研究成果をより多く創出し、企画の成果や育成プログラムの社会へのより一層の普及・展開を進めることで、次世代人材育成事業のロールモデルとして更に発展していくことを大いに期待する。